



はくい (HAKUI)

羽咋市議会では、市民の皆さんへ議会の結果や市議会議員の活動を伝えることを目的として「市議会だより」を発行しています。市議会議員は市民の皆さんの代表であり、市民の声を市政に反映させることが仕事です。何でもご相談ください。

平成29年4月号(2017)

市議会だより

No.73

発行者／石川県羽咋市議会

編集者／市議会だより編集委員会

住 所／〒925-8501 石川県羽咋市旭町ア200番地

TEL 0767-22-7160 FAX 0767-22-7210

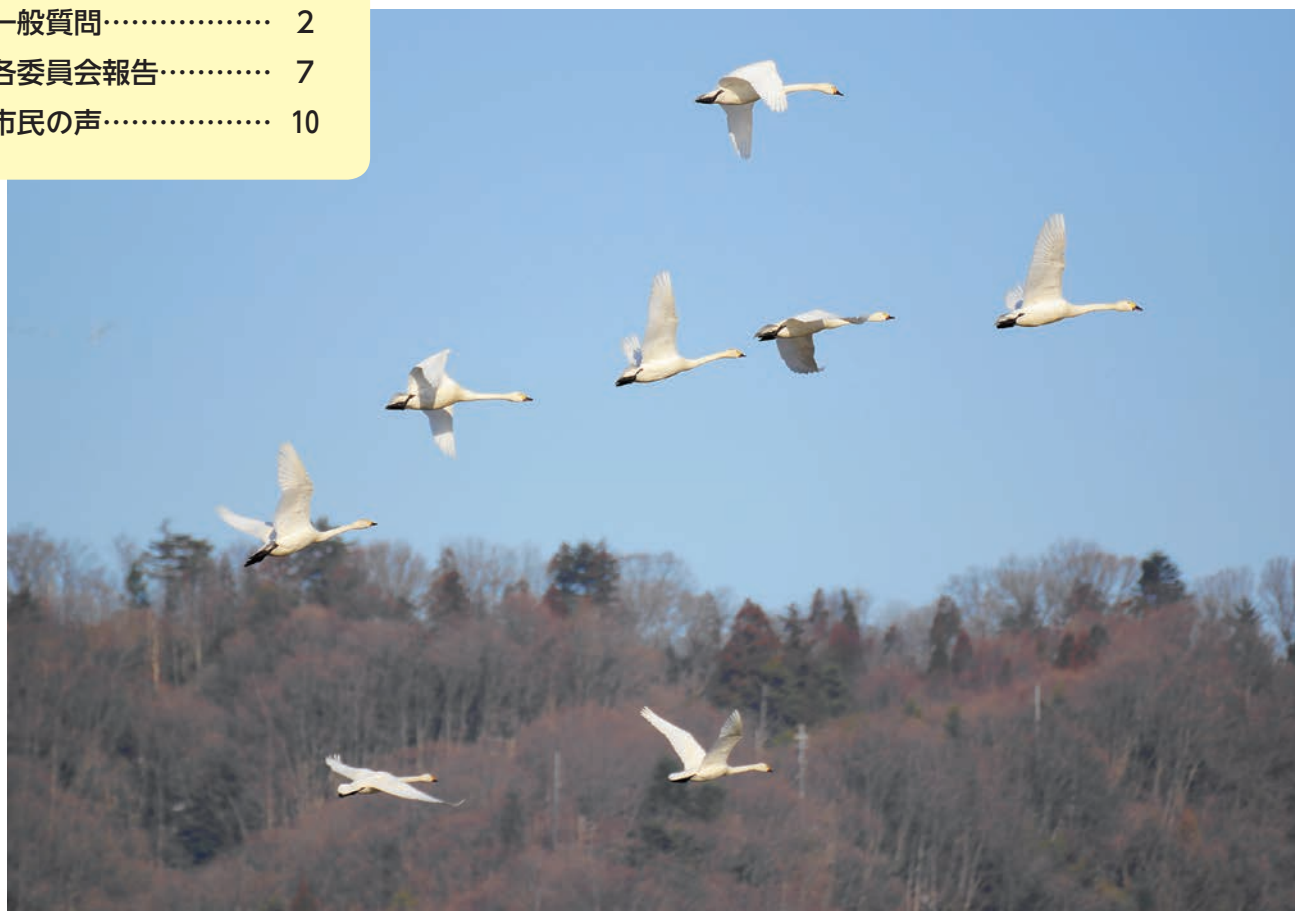
<http://www.city.hakui.ishikawa.jp>

主な内容

一般質問…………… 2

各委員会報告…………… 7

市民の声…………… 10



旅立ちのとき（眉丈山系）

平成29年第1回定例会の概要

平成29年第1回羽咋市議会定例会が2月27日から3月21日までの23日間開催された。提出された議案は、平成29年度羽咋市一般会計予算案など議案13件、条例10件、その他2件、報告2件。

初日の提案理由説明で山辺市長は、平成29年度予算案について、引き続き財政調整基金の取り崩しを行わない予算編成を基本とし、財政の健全化に努めていく。また、将来にわたって持続可能な活力ある地域社会を創るため、「がんばる羽咋創生総合戦略」を基本とし、これまで進めてきた「がんばる羽咋創生プログラム」を引き続き推進すると説明した。

3月7、8日の一般質問では9人の議員が質問に立ち、若い世代の結婚・出産・子育て、健康寿命を抑制するための施策、ふるさと納税の納税額と運用、羽咋市墓地公苑、高齢者福祉・介護保険事業、道の駅指定管理業務などについて質問した。

最終日の採決では、平成29年度羽咋市一般会計予算など市長提出議案13件、条例案10件、その他2件、報告1件を全会一致または賛成多数で原案のとおり可決、承認とした。また、追加提出された議員提出議案「歩育基本法」を可決し、市長提出議案の教育委員会委員の任命については2件とも同意した。

副議長就任のごあいさつ

この度、羽咋市議会第1回定例会において、議員各位の推挙により、第46代の副議長に就任いたしました。今後は、議長を支え羽咋市の発展と議会の公正かつ円滑な運営を心がけ、誠実に取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

本市では本年7月、道の駅「のと千里浜」が開業いたします。道の駅は羽咋市の観光拠点となることは勿論のこと、能登全域の観光情報の発信基地になることが期待されています。

羽咋市民にとっては大きな関心事であるとともに大きな成果が求められる事業でもあり、官民一体となった取り組みが必要になります。市民の皆様には、今後も積極的な助言、提案を頂くとともに、道の駅「のと千里浜」のご利用をお願いいたします。

最後に、これまで以上のご指導・ご鞭撻を賜るよう、お願い申し上げまして、副議長就任の挨拶といたします。



浜名 等 副議長



櫻井 英一 議員

がんばる羽咋創生総合戦略の加速を



寺家工業団地

新たな工業用地の確保

【質問】 本市における近年の企業誘致は、山辺市長をはじめ執行部・職員の頑張りもあり、大きな成果を挙げてきた。しかしながら、羽咋創生に向け、今後さらなる企業誘致は不可欠である。平成28年度は工業用地の確保に向け、候補地選定調査を行った。その調査結果を聞く。

【答弁】 現在、候補地選定調査の最終的な取りまとめを行っているところであり、平成28年度末までに市議会に報告する。調査内容は、規模や法規制などを踏まえて、市内6カ所を調査対象として抽出し、立地位置、地形条件、アクセス面及び費用面などを比較検討している。

結婚相談員の活動支援

【質問】 本市では平成25年度から若い男女の恋愛・

結婚の良き相談相手として結婚相談員を置き、希望をかなえるための活動をしている。結婚相談員は現在何名か。また、今後の活動支援について聞く。

【答弁】 現在5人の相談員が活動をしている。平成27年度に地方創生事業の婚活イベントを開催したあと、結婚を希望する登録者数が増えており、結婚相談員は登録されている方々のマッチング、サポートをしている。結婚相談員の活動は基本的にボランティアであるが、活動にあたっては何かと費用が掛かることから、平成29年度はその活動支援として1人月3000円の活動費を創設したいと考えている。

その他の質問

自然栽培と既存の農業も含めた全体の農業活性化策について



新田 義昭 議員

はくい市民ファースト



堀替大橋周辺

羽咋市政の取り組み方針は

【質問】 ①1期目は、財政再建。2期目は、安全・安心な町づくり。3期目は、羽咋創生である。創生プログラムには多くの主要事業があり、山辺市長に市政方針を問う。②公立保育所（栗ノ保・西北台・余喜）の3ヶ所であり、一番若い保育士さんは38歳と聞く。保育士の採用と今後の保育所の運営を辻角副市長に問う。

【答弁】 ①7月開業の道の駅「のと千里浜」を核とする地域経済循環システムの構築や、自然栽培のさらなる普及に向けた邑知の郷公園の再整備・定住人口の増加に向けた分譲地の造成などを重点事業とする。他自治体との差別化による事業展開とスピード感が重要であり、全庁一丸となって取り組んでいく。②本市の保育所行政の運営につい

ては、ピーク時は出生数500人。保育所を15ヶ所設置して、現在3ヶ所である。民間活力も考慮しながら、保育所と保育士の採用計画を検討していく。

県道若部・千里浜インター線の道路拡幅を

【質問】 堀替新町と尾長出町の間で、自動車がすれ違いできない場所があり危険である。毎年7月には期成同盟会の総会がある。道路の拡幅と現地視察を県当局に強く要望していただきたい。

【答弁】 道路管理者である石川県に対し、早期に通行の安全性が図れるよう強く要望していく。現地視察も石川県と協議していく。



松永 幸則 議員

健康で元気に暮らせる 羽咋市に

病気にならないための
予防の取り組みが大切

保育園でも安全安心な自然栽培給食を

【質問】 羽咋市の自然栽培の取り組みに注目して、海外からも視察や研修の引き合いが相次いで来るようになった。国内のみならず海外からも注目されるようになった自然栽培の将来性、市場性、展望についての見解は。保育所でも給食に活用できないか。

【答弁】 全国で自然栽培に取り組む農業者が増えており、各地で自然栽培を推進する団体が組織され始めている。3年後に東京オリンピックを控える中、環境にも人にも優しい日本独自の農法として世界に強くアピールできるなど、自然栽培は大きな可能性を秘めている。平成29年度から、公立保育所での給食に自然栽培の食材活用を検討したいと考えている。

元気シニアスタンプラリーの活用を

【質問】 高齢者の方々に対して認知症や介護の予防の取り組みの動機づけとなり、社会参画を促進し、健康を維持する趣旨の元気シニアスタンプラリーの活用について求めたが、今年度は対象となる60歳以上の方の参加者は増加したか。参加率は県内の他の市町と比較してどの位か。

【答弁】 元気シニアスタンプラリーは、高齢者の閉じこもり防止を目的に、老人クラブ活動や介護予防教室などに参加して規定数のスタンプを集めた方に、抽選で賞品を贈呈する事業である。本市の応募数は220人となり、前年と比較して42人の増加となった。60歳以上の方の参加率については、昨年の1.82%から2.28%と上昇し、県内19市町において3位となった。



寺井 哲也 議員

まちの安全・安心と教育は 先手で



鹿島路地区防災倉庫

各地区の安全・安心づくりは大丈夫か

【質問】①今後の防災倉庫、防災公園の設置計画について。②先進地の防災公園や避難施設では、ペットボトルの飲料水に加えて、生活用水となる井戸を確保しているが、井戸や湧水を利用する考えについて。

【答弁】①防災計画に基づき整備を行っており、旭町防災公園、鹿島路地区防災倉庫の2カ所を整備した。今後の整備計画は、各地区の避難施設及び避難場所の整備状況を勘案しながら検討する。②災害時の飲料水等は、巨知湯地震災害の想定避難者数を基本とし確保しているが、災害時に無償で家庭の井戸を提供していただくため、年度早々に災害時協力井戸調査を行い、減災、防災に役立てたいと考えている。

新たな授業に対応した取り組みは

【質問】平成32年度から、小学校の授業に英語に

加えプログラミングが導入されるが、教育現場での具体的な取り組みについて。

【答弁】確かな学力の定着というのが第一、そのためにツールとしてタブレットの利活用を考えていく。また、ALTを増員し小学校英語の教科化完全実施に向けて、学校現場や児童の状況を踏まえて実施していく。プログラミング教育については、これからの社会に必要な資質、能力を育成するための教育として位置づけられており、効果的な教育のあり方や、これを実現するために必要な条件整備について、国、県の動向を見ながら検討していく。

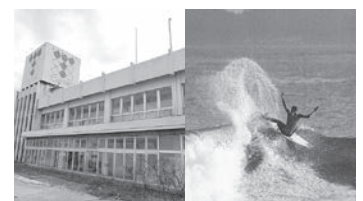
その他の質問

- ①ふるさと納税寄附金額と運用について
- ②市長の教育に対する考えについて



浅野 俊二 議員

山辺市政3期目総仕上げ その道筋を示せ!!



旧トーカマート サーフィン世界大会を

旧トーカマートの整備を急げ

【質問】市長選の大きな話題となった、駅前周辺と旧トーカマートの整備を今後具体的にどう進めるのか。ただそうはいっても民間の土地で難しい問題もある。金融機関による債権が6億2000万円、解体すればアスベストもあり2億5000万円、合計8億7000万円で、全部、市費ではなく、債権の放棄と「道の駅」のような70%程度の高い補助率制度の活用、また商店街だけの利害関係者だけでなく広く市民の皆さんの声を聞け。タイムスケジュールと決意を聞く。

【答弁】市街地の再生や都市防災等幅広い視点から、道路、河川、商業施設及び周辺土地の利用を含めたさまざまな都市機能の立地を検討し、権利関係を調査し整理手法を考える。また、地域住民や商業関係者の意見を聞き、市民のニーズや市財政状況及び国の支援対策等を勘案し効果的な施策や跡地活用を図り、活性化プランを作成する。

サーフィン世界大会を柴垣海岸で開催を

【質問】オリンピックが2020年に日本で開催され、サーフィンも正式競技に決定し、若者のUターン・Iターン、サーファーの増加が続いている。地元の受け入れ体制が整えば来年からでも可能だと聞く。成功に向け市の協力を。

【答弁】サーフィン及び柴垣海岸を本市の地域資源の一つとして地域振興、さらには移住の促進に寄与すると期待している。案内板、ビーチクリーナー等は今後の課題。まずは情報の共有を図りたい。

その他の質問

- ①教職員の長時間労働とその対策について
- ②長者川の護岸工事について



浜名 等 議員

羽咋市墓地公苑にも 合葬墓の建設を！



内灘町霊園の合葬墓

住みなれた“はくい”に最後まで

【質問】核家族化が進んでいる現在、自らのお墓を準備する時代に入ってきている。普通区画のお墓を建てるには高額のコストが必要なことから、費用が安く済み維持管理の心配がいらぬ合葬墓を希望する人が増えている。今後の墓地公苑の造成にあたっては、合葬墓の建設も視野に入れる必要があるのでは。

【答弁】少子化や核家族化の影響、経済的な事情などから墓の管理や維持ができない方のために、寺院や宗教法人による永代供養墓が全国的に増えている。本市でも墓地公苑が手狭になってきていることから、今後は、他の自治体の状況を見ながら検討していく。

地域の課題を解決するアンケートの実施を

【質問】市内各地区で開催された、「地域で支える

まちづくり」懇談会では、活発な意見交換があったと聞く。懇談会で頂いたご意見は、整理をし、今後の活動推進に役立てる必要がある。福祉に携わる各種団体の情報の共有や地域の現状把握を行うためにも、関係各位にアンケートをお願いしてはどうか。市長の考えを聞く。

【答弁】地域懇談会では、住みなれた我が家で暮らし続けるためには、健康寿命を延伸するための自助や、近隣との日ごろからの互助が重要であるとのことのご意見が多くあった。今後は町単位の生活支援や地域の課題を整理し、地域包括ケアシステムを構築するために活用していく。アンケート調査の実施は、生活支援協議体において検討したい。

その他の質問

ふるさと納税について



北川 真知子 議員

臨時保育士の正規化と 処遇改善を！



子どもたちと保育士

臨時保育士の正規化を進めること

【質問】市立保育所の保育士25人のうち、臨時保育士は14人。臨時保育士のうち8人はフルタイムで働き、早番、遅番もあり、クラス担任ももっている。臨時職員の正規化を進め、労働条件の改善を図ること。

また、正規の保育士と臨時保育士の賃金は、2倍の開きがある。同一労働、同一賃金となるよう、処遇改善を図ること。

【答弁】本市では、行財政改革や保育所整備運営計画の方針に沿って、保育所の統廃合や民間活力の導入による指定管理制度を進めてきた。今後も、保育士の正規化については、保育所整備運営計画の進捗状況の中で、適正な採用を検討していく。

また、臨時保育士の処遇に関しては、平成28年度の最低賃金がおおよそ3%上昇しており、来年

度の保育士を含めた臨時・非常勤職員の賃金へ反映させる予定であり、今後も引き続き処遇の適正化を図っていく。

低所得者でも入居できる軽費老人ホームを

【質問】住まいに困窮する人や在宅生活に不安のある軽度の介護認定者などが、国民年金でも入居できる軽費老人ホームの整備を。

【答弁】本市において軽費老人ホームの設置はないが、県内にある28カ所の施設を活用してほしい。

その他の質問

- ①子ども子育て支援について
- ②国民健康保険税について
- ③邑知の郷公園の再整備について



塩谷 久司 議員

新年度一般会計予算は積極型の予算



羽咋市役所

7年連続黒字達成で引き続き財政の健全化に

【質問】 新年度一般会計予算102億6千万円は道の駅「のと千里浜」などの大型事業が終了した中で積極型の予算である。引き続き財政の健全化に努めているが、国の示す健全化判断比率と財政の弾力性を示す経常収支比率は改善したものの依然注意を要する水準にある。今後の見込みと課題について尋ねる。

【答弁】 健全化判断比率及び経常収支比率の見込みについて、実質赤字比率、連結実質赤字比率は、平成28年、29年度においては黒字を見込んでいる。次に実質公債費比率は、羽咋中学校建設事業の償還が平成28年度から始まったことにより、2.3ポイント程度の上昇を見込んでいる。パセオ通りやクリンクルはくい周辺道路の償還終了

により、平成29年度は28年度より0.6ポイント程度の改善を見込み、将来負担比率は道の駅建設事業や埋立処分場建設事業等の負債が増加するため、10ポイント程度の上昇で、平成29年度は28年度と同程度を見込んでいる。経常収支比率は、実質交付税が2億円程度減少し、公債費も増加するため、3ポイント程度の上昇、平成29年度も実質交付税の減少と扶助費の増加が見込まれ、上昇すると見込んでいる。健全化判断比率は、基準内の数値を維持しており改善傾向にあるが、現在、県内では19市町の真ん中くらいに位置する。引き続き計画的な財政運営に努める。

その他の質問

「がんばる羽咋創生プログラム」について



稲村 信成 議員

自然栽培の聖地化へ



自然栽培実践田

農業活性化と自然栽培の状況を問う

【質問】 ①農産物の作付け、自然栽培・有機栽培・その他慣行栽培の比率を問う。②3年後の栽培比率目標は ③グローバルGAP（適正農業規範：世界の農作物取引に求められているGAP認証制度）の推進策を問う。

【答弁】 ①自然栽培1%、有機栽培1%、慣行栽培98%。能登米は全体の30%である。②自然栽培・有機栽培・エコ栽培等の生産比率を32%から34%とし普及向上したい。③食材の輸出やオリンピックでの採用には、GAPの認証が必要不可欠となる。認証取得費用の一部支援を考えている。

道の駅指定管理業務を問う

【質問】 ①羽咋まちづくり(株)に資本金5900万円。

財務負担行為（借金）に1200万円の限度額を計上した理由を問う。②各議員から赤字経営の不安の声、経営収支計画書の提出を求める。

【答弁】 ①トイレ・駐車場・調整池等の管理費に平成29年度予算で160万円計上。債務負担行為1200万円は、市が管理すべき施設の費用負担分として平成30～33年分4年間の指定管理料を計上。②中期計画での初年度売上 2億1000万円、赤字1600万円。以降黒字の計画。

その他の質問

- ①市民活動支援センターについて
- ②予算：基金繰入金について

予算常任委員会報告

◎山本 泰夫 ○松永 幸則 浜名 等 北川真知子
 寺井 哲也 櫻井 英一 稲村 信成 大塚 幸男
 新田 義昭 高田 甚哉 塩谷 久司 中村 重幸
 中村 孝清 浅野 俊二

当委員会に付託された案件は、議案第1号「平成29年度羽咋市一般会計予算」など議案13件及び報告1件。3月8日から13日まで委員会を開催し審査した。

その結果、議案第1号「平成29年度羽咋市一般会計予算」、議案第2号「平成29年度羽咋市国民健康保険特別会計予算」及び議案第4号「平成29年度羽咋市介護保険特別会計予算」については、賛成多数により原案のとおり可決、残りの議案10件及び報告1件については、全会一致で原案のとおり可決・承認した。

審査の過程での主な質疑・質問は以下のとおり。

＜平成29年度の新年度予算の審査において＞

【質問】 るんるんバスについて、今回、道の駅「のと千里浜」に乗り入れする予定とのことだが、1区間バス停を増やすことで費用はどれ位かかるのか。

【答弁】 1区間バス停を増やすことで、バスの中のアナウンステープの作成、標識などの備品や運行時間変更に伴う委託料で約270万円の経費がかかる。

【質問】 寺家遺跡保存整備事業について、具体的な事業内容を教えてほしい。また、市民に向けてアピールしてほしい。

【答弁】 平成29年度からの新規事業であり、整備基本計画を2ヶ年で作成する。例えば、市民の皆さんが使いやすい公園に整備して、どのように活用していくのかをこの基本計画に盛り込んでいきたい。

【質問】 邑知の郷公園再整備事業の委託料について、その内容と目的は何か。

【答弁】 会宝産業株式会社が取り組む自然栽培の技術の向上及び、農産物加工品の研究開発などを調査委託するもので、その成果やノウハウを市内の農業者や新規就農者に提供し、所得の向上や自立化を図っていくのが目的である。

その他、マイナンバー制度推進事業の現状について、民生・児童委員活動支援事業の内容について、水道事業会計及び下水道事業会計の現状と今後の状況などについての質疑・質問がされた。

＜平成28年度の補正予算の審査において＞

【質問】 放課後児童健全育成事業について、児童クラブICT促進の補正内容について。

【答弁】 児童に、インターネットを使った教育をするため、インターネット設備、パソコン及びプリンターなどを整備する。

【質問】 今シーズンは例年より雪が少なかったと思うが、除雪費用の内容について。

【答弁】 今年度は、平野部での一斉除雪は無かったが、神子原地区で20センチを超える降雪があり局地的な除雪を4回実施した。また、邑知潟大橋などの路線での凍結防止剤の散布、借り上げ除雪機械の固定費及びリース代などに経費がかかった。

その他、介護サービス給付事業の減額内容について、認知症施策推進事業で配布する情報誌の内容などについての質疑・質問がされた。



総務民生常任委員会報告

◎櫻井 英一 ○浜名 等 松永 幸則 大塚 幸男
新田 義昭 中村 孝清 山本 泰夫

当委員会に付託された案件は、議案第15号「羽咋市個人情報保護条例の一部改正について」など議案9件。3月14日に委員会を開催し審査した。

その結果、議案9件については全会一致で原案のとおり可決した。

また、陳情2件については聞き置いた。

審査の過程での主な質疑・質問は以下のとおり。

【質問】 マイナンバーの利用等に関する法律の改正に伴う、個人情報保護条例の一部改正について。羽咋市の業務において、マイナンバーに関する個人情報等のセキュリティ体制はどうなっているのか。

【答弁】 マイナンバーの照会可能な職員を限定した運用を行っている。また、ID・パスワードに加えて、ICカードを使用したシステムの導入により、照会者や照会日時を記録していくなど、セキュリティの強化を図ることになっている。

【質問】 羽咋市指定地域密着型サービス事業所の運営等について。今回の法改正により、認知症対応型通所介護事業所に運営推進会議の開催を義務付けるとのことだが、運営推進会議にはどのような方が参加しているのか。

【答弁】 主に、地域の町会長や民生委員、利用者の家族等が参加し、事業所の運営等について意見交換を行っている。

その他、職員の勤務時間、休暇及び育児休業等に関する条例の一部改正についての質疑・答弁がされた。

また、付託案件以外の所管事項として「市民提案型まちづくり支援事業」についての質問・答弁がされた。

産業文教常任委員会報告

◎寺井 哲也 ○高田 甚哉 北川 真知子
稲村 信成 塩谷 久司 中村 重幸 浅野 俊二

当委員会に付託された案件は、議案第14号「羽咋市農業委員会定数条例の全部改正について」など、議案3件。3月15日に委員会を開催し審査した。

その結果、議案第14号「羽咋市農業委員会委員定数条例の全部改正について」は賛成多数により、原案のとおり可決。

残りの議案2件についてはいずれも全会一致で原案のとおり可決した。

審査の過程での主な質疑・質問は以下のとおり。

【質問】 農業委員と農地利用最適化推進委員の選出について聞く。羽咋市農業委員会委員定数条例の改正により、選挙や議会及び各団体からの選出が廃止となるが、今後の選出方法はどうなるのか。

【答弁】 農業委員は、羽咋市全体で委員を選出することになり、農地利用最適化推進委員は、担当する区域を定めて選出することになる。

その他、市道路線の認定、防災の関係、道路の幅員などについて質疑・質問がされた。



平成29年 第1回定例会 3月議会

平成29年度一般会計予算、国民健康保険特別会計予算、後期高齢者医療特別会計予算等及び平成28年度一般会計補正予算等の議案26件、追加提出された議員提出議案1件、人事案件2件を原案のとおり可決・同意・承認した。

■全会一致で議決された議案

	議 案 名	議決結果
議員提出議案第1号	「歩育基本法」の制定を求める意見書の提出について	可 決
市長提出議案第2号	平成29年度羽咋市国民健康保険特別会計予算	可 決
市長提出議案第3号	平成29年度羽咋市後期高齢者医療特別会計予算	可 決
市長提出議案第5号	平成29年度羽咋市千里浜財産区特別会計予算	可 決
市長提出議案第6号	平成29年度羽咋市水道事業会計予算	可 決
市長提出議案第7号	平成29年度羽咋市下水道事業会計予算	可 決
市長提出議案第8号	平成28年度羽咋市一般会計補正予算（第6号）	可 決
市長提出議案第9号	平成28年度羽咋市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可 決
市長提出議案第10号	平成28年度羽咋市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可 決
市長提出議案第11号	平成28年度羽咋市介護保険特別会計補正予算（第3号）	可 決
市長提出議案第12号	平成28年度羽咋市水道事業会計補正予算（第3号）	可 決
市長提出議案第13号	平成28年度羽咋市下水道事業会計補正予算（第2号）	可 決
市長提出議案第16号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	可 決
市長提出議案第17号	羽咋市職員退職手当条例の一部改正について	可 決
市長提出議案第18号	羽咋市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について	可 決
市長提出議案第19号	羽咋市税条例の一部改正について	可 決
市長提出議案第20号	羽咋市デイサービスセンター設置条例の一部改正について	可 決
市長提出議案第21号	羽咋市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について	可 決
市長提出議案第22号	羽咋市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について	可 決
市長提出議案第23号	羽咋市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部改正について	可 決
市長提出議案第24号	字の名称の変更について	可 決
市長提出議案第25号	市道路線の認定について	可 決
市長提出議案第26号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同 意
市長提出議案第27号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同 意
市長提出報告第1号	平成28年度羽咋市一般会計補正予算（第5号）の専決処分の報告について	承 認

■意見が分かれた議案

○は賛成 ×は反対 欠は欠席

	議 案 名	松永幸則	浜名等	北川真知子	寺井哲也	櫻井英一	稲村信成	大塚幸男	新田義昭	高田基哉	塩谷久司	中村重幸	中村孝清	山本泰夫	浅野俊二	議決結果
市長提出議案第1号	平成29年度羽咋市一般会計予算	○	○	×	○	○	○	議長は採決に加わりません	○	○	○	○	○	○	○	可 決
市長提出議案第4号	平成29年度羽咋市介護保険特別会計予算	○	○	×	○	○	○	議長は採決に加わりません	○	○	○	○	○	○	○	可 決
市長提出議案第14号	羽咋市農業委員会委員定数条例の全部改正について	○	○	×	○	○	○	議長は採決に加わりません	○	○	○	○	○	○	○	可 決
市長提出議案第15号	羽咋市個人情報保護条例の一部改正について	○	○	×	○	○	○	議長は採決に加わりません	○	○	○	○	○	○	○	可 決

●●● 市民の声 ●●●

市民と議員をつなぐ窓口を

K.H 富永地区・女性・30代

これからまちを支えていくのは若者や子ども達。母親世代や若者が市議会に興味を持ち、市政に積極的に参加していくことが、まちを活気づかせることにつながっていくと思います。

ところが市議会に対して質問や意見を伝えたくても、どこに行けばいいのか、誰に伝えればいいのか分からない。市民と議員をつなぐ窓口になるような場所や機会があればいいと思います。

もっと気軽に市政へ参加できる雰囲気作りなど、市民と議会が一体となってまちづくりをしていければ。

のと千里浜 道の駅に期待

C.F 千里浜地区・女性・50代

道の駅のオープンが近づいて来ました。インターすぐで広々とした敷地。横を通る度にワクワクします。赤字間違いなしと言って反対の声があったようですが、前に進んでくれて本当に良かったです。

地元の人で作る安心な野菜や加工品が美味しく安く買えるとあれば、遠くからでも人は何度でもやって来ます。石川県で二番目に文化財の多い羽咋市に人を呼び込むきっかけになるとと思います。7月が待ち遠しいです。

お知らせコーナー

「市民の声」を募集

市議会だより編集委員会では、市民の皆様の声を募集しています。議会に対しての感想などがありましたら、下記までお気軽にお寄せください。

〒925-8501 羽咋市旭町ア200 羽咋市議会事務局 ☎22-7160 FAX 22-7210
Eメール gikai@city.hakui.lg.jp

傍聴してみませんか

市庁舎5階の議場入口で、住所、氏名、年齢を記入するだけで自由に傍聴できます。次の議会定例会は6月上旬に開催予定です。一度、傍聴してみませんか。

●インターネットでも視聴できます

羽咋市議会では、本会議の審議状況を市のホームページで映像配信（生中継）しています。また、

録画映像も配信しており、常任委員会についてもご覧いただけます。

●アクセス方法

「羽咋市公式ホームページ」を開き、トップページ左欄の「議会」をクリックし、「インターネット議会中継」の欄から視聴したい項目をクリックしてください。

会議録、閲覧できます

市議会だよりに掲載されている質疑・質問は、議会で発言された内容の一部です。定例会の内容は、会議録にすべて記載されています。詳しくは、図書館、議会事務局、公民館で会議録をご覧ください。市のホームページにも掲載しています。

なお、平成29年3月議会の会議録は、6月上旬に閲覧できる予定です。

編集後記

羽咋市が取り組む自然栽培に注目し、全国各地から若い人が移住して来たり、企業が進出してくるようになりました。それに伴い、自然栽培以外の農産物にも注目が集まるようになってきました。海外からも視察や問い合わせが続いています。しかし、羽咋市の底力はまだまだこんなものではありません。厳しい都市間競争に勝つために、県や国とも連携しながら、議会も執行部も一体となり、さらに様々な施策を強固に進めていきます。

(松永 幸則)

市議会だより編集委員会
(☎0767-22-7160)

委員長	浜名 等
副委員長	北川真知子
委員	松永 幸則
	寺井 哲也
	櫻井 英一